

# 明るい漁村

**JF**  
JFしまね

漁業協同組合 JFしまね

第167号

発行日：平成20年5月15日

編集兼発行人：漁業協同組合JFしまね

印刷所：松村印刷株式会社

JFしまね漁業無線局開局.....	2 ~ 3
境港製氷工場建設概要.....	4
山田水産庁長官との懇談会.....	5
JFしまね漁業経営安定緊急対策大綱.....	6 ~ 7
全国青年・女性漁業者交流大会.....	8
竹島の日記念行事開催.....	8
浜の声～内田浩明さん(JFしまね恵曇支所所属).....	9
お知らせコーナー.....	10 ~ 11
ひとこと随想.....	12



JFしまね漁業無線局  
(浜田市港町)

# JFしまね漁業無線局開局

平成20年4月1日に「JFしまね漁業無線局」が開局した。当日は、午前10時に除幕のあと開局式を行った。

はじめに、岸会長から「漁船事故が多発する中、漁業者の危機管理に一番役立つのは携帯電話ではなく漁業無線である。JFしまね

漁業無線局の開局により、365日24時間通信体制が確保され、漁業者が安心して操業できる基盤ができた。これからは本無線局を有効に活用し漁業者の役に立てたい。」と式辞を述べた。続いて開局までの経過報告のあと職員10名に辞令が交付された。続いて、島根県農林水産部の場次長、島根県議会水産振興議員連盟岡本会長から祝辞をいただき、島根県漁業無線組合、浜村組合長の乾杯で開局を祝した。



鳥落無線局長（右）から説明を受けるJFしまね岸会長（中央）、  
的場県農林水産部次長



JFしまね漁業無線局職員一同

## JFしまね漁業無線局概要

島根県は東西に帯状に長く、海上沖合40～80kmに隠岐島を浮かべ、東部を出雲、中西部を石見、そして隠岐の3地区に区分している。地形は極めて複雑で、一部長い砂浜があるものの岩礁域が多く海岸線の総延長は1,028kmに達する。

主な漁業はまき網漁業、沖合底曳網漁業、小型底曳網漁業、いか釣漁業、定置網漁業、刺網漁業、一本釣漁業、採貝藻漁業があり、漁獲量、金額とも日本海西区では最上位に位置している。

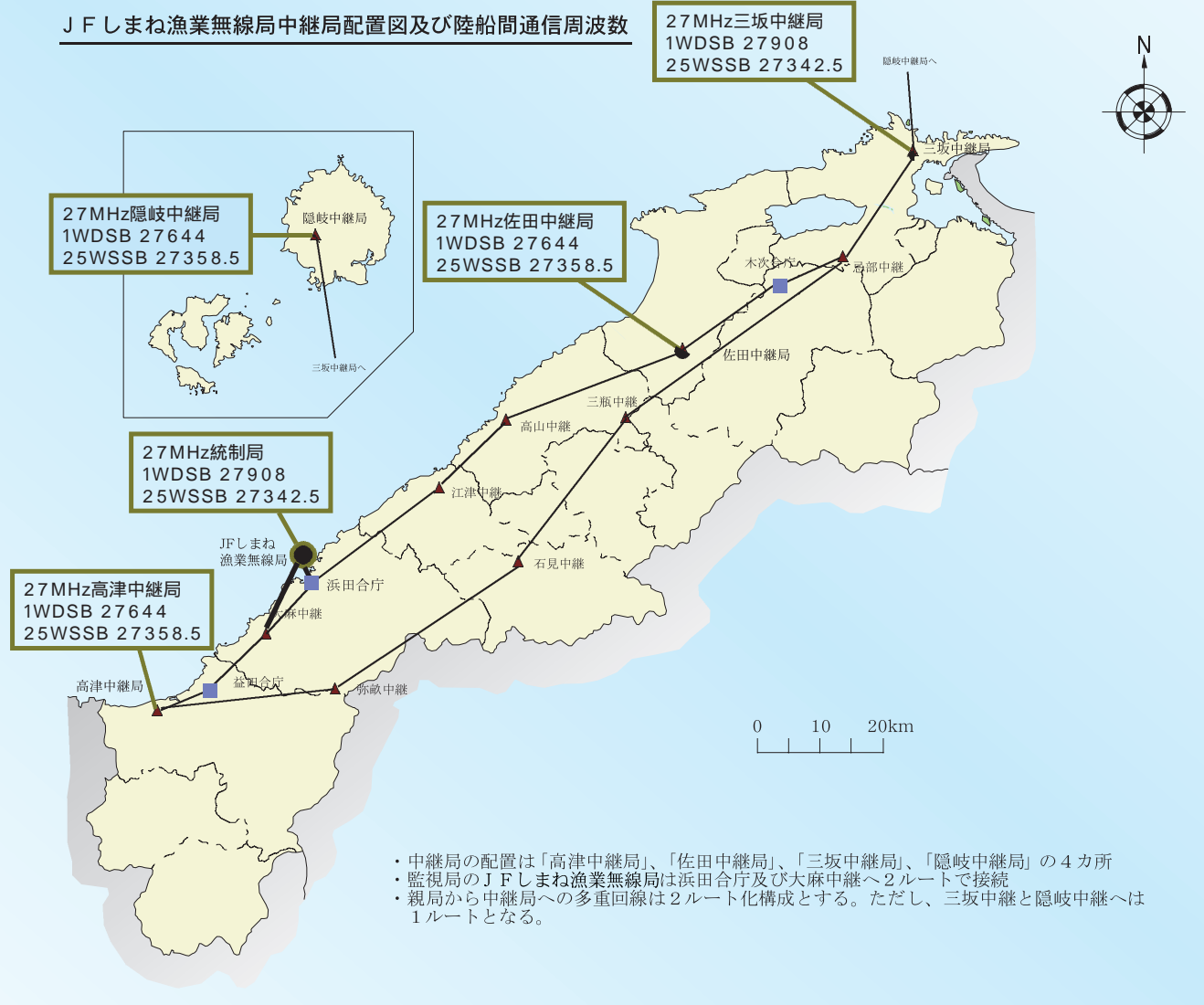
JFしまね漁業無線局では、漁船との通信を一年365日24時間体制で確保する設備と、県下沿岸全域をカバーする通信エリアと安定した通信サービスを確保しており、漁業通信、気象情報、海上防炎情報などを発信すると共に、漁業者の



危機管理に努める。

このため、島根県内の三坂、佐田、益田、隠岐の4ヶ所に受信所を設置し、島根県防災行政無線回線を全面的に利用して、統制局（JFしまね漁業無線局）で集中的に管理運営する体制となっている。（加入隻数・1,318隻）

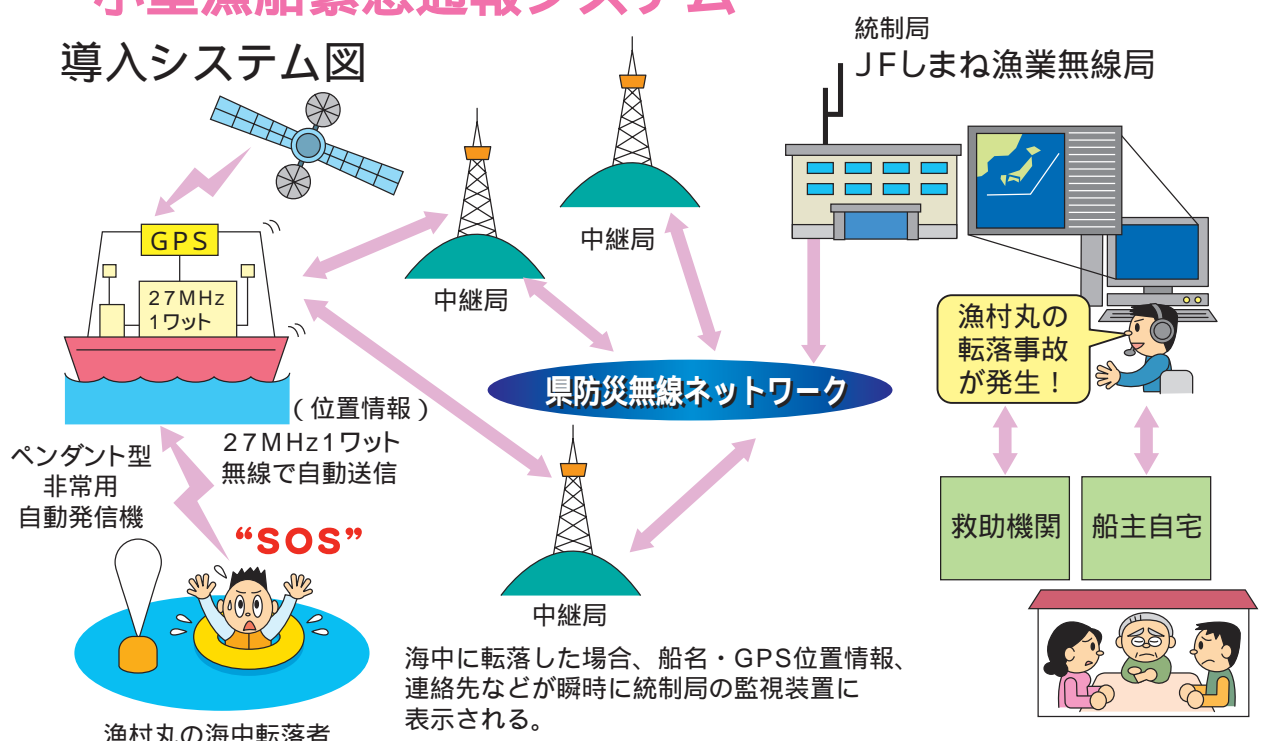
JFしまね漁業無線局中継局配置図及び陸船間通信周波数



- ・中継局の配置は「高津中継局」、「佐田中継局」、「三坂中継局」、「隠岐中継局」の4カ所
- ・監視局のJFしまね漁業無線局は浜田合庁及び大津中継へ2ルートで接続
- ・親局から中継局への多重回線は2ルート化構成とする。ただし、三坂中継と隠岐中継へは1ルートとなる。

## 小型漁船緊急通報システム

### 導入システム図



# 境港製氷工場建設工事

## 起工式 開催

去る、4月14日(月)午前11時、建設地である境港市昭和町において「境港製氷工場」建設工事の起工式が開催された。

現在の宇井製氷工場は建設稼働後37年以上を経過し、老朽化によつてその稼働は限界に達している中、凍氷の供給は漁業生産活動の基本を支えることから、新たな施設整備は喫緊の課題であった。

また、新施設を有効に利用・稼働するためには、水揚げ基地である境港水産物地方卸売市場により近い場所に建設する必要が高いため、建設地の選定が高いハードルとなっていた。

このような状況下において、平成18年8月、本組合と鳥取県漁業協同組合が業務提携を結び鮮魚販売、流通面において様々な連携を進めていく中で、平成19年2月に鳥取県漁協中継基地冷蔵庫の

西側約2000坪の土地(建物含む)を取得。今般、待望の新製氷工場の建設が実現する運びとなった。

起工式には本組合より岸会長、団野・池田副会長他建設委員4名と工事請負業者である松江土建(株)、実施設計・施工監理を担当す



鍬入れをするJFしまね岸会長

る(株)坂本建築設計事務所等関係者25名の出席のもと厳かに執り行われた。当日は天候にも恵まれ、まき網漁業の大漁もあつて、9月15日の完工に向け、恙無く建設工事が進行するようあらためて祈念した。

新施設の総事業費は6億3千万円。国の強い水産業づくり交付金事業や、工業団地等に新設、増設を行う企業に対し一部を助成する鳥取県の企業立地事業補助金、また境港市の工場立地促進補助金を導入。宇井製氷工場に隣接する安来製氷(株)宇井工場と機能統合し、年間計画約30、000トンの凍氷を供給することにより、主に境港に水揚げする隠岐地域・鳥根半島東部の漁業者の負託に添えていくことを目的とする。

### 施設概要

施設	概要
(1) 製氷施設	日産能力 100トン
(2) 貯氷施設	貯氷能力 3,200トン
(3) 砕氷・出氷施設	2 塔
(4) 事務所施設	1 棟
(5) 附帯設備	リフト3台



# 山田水産庁長官との懇談会

(浜の声を聴く会)



施策の説明を行う  
山田水産庁長官

情勢を反映し、燃油高騰対策、代船取得に係る問題点、フロンティア漁場整備事業における湧昇マウンド礁設置要望、大型クラゲ対策、調整保管事業の拡充、WTO、FTA問題、日韓漁業問題など活発な意見交換会となった。



山田長官(右)、岸会長(中央)、谷口運営委員長(左)

## 水産庁長官

## 美保関大敷を視察

一瞬、緊張した時間が和らいだ。午前9時30分帰港。長官は殺菌冷海水処理による出荷作業を見学されると美保神社へ参拝。

午前10時30分、230箱の出荷作業を終えると長官を囲んで、水揚げしたばかりの魚をおかずにし遅めの朝食となった。さっそく獲れたてのシロイカ、タイ、ヒラメを捌いて舌鼓。長官は満面の笑みで、「うまいっ!」と海の醍醐味を絶賛された。「長官が乗られると漁がある。また来週もお願いしますよ。」と乗組員。先刻の操業とは一変、終始和やかな時間を過ごされ、長官は海の神様・事代主命が祀られる島根半島突端の町、美保関をあとにされた。

4月20日(日)、山田水産庁長官

が美保関大敷に乗船された。低気圧の余波から当日の出漁が憂慮されていたが、午前7時に美保関漁港を出港。本組合から岸会長、谷口美保関支所運営委員長も乗船し、うねりが残る漁場へと向かった。

時折3m程の高波が押し寄せる中、通常の倍近い時間をかけて漁場に到着、何かに掴っていないと立ってはられない状況で操業は始まった。網をおこすのもままならず、船長の大声が飛び交う。ようやく、網が絞り込まれるとアジやタイ、サワラにヒラメ様々な魚がところ狭しと跳ねまわる。大漁だ。



(前列左3番目より) 牧野県まき網協議会長、野津副会長、平木副会長、西野県かにかご組合長

平成20年4月19日に境港市において、生産者代表(まき網漁業、かにかご漁業、沖合底曳網漁業、いかつり漁業)、境港荷受3社、加工・仲買業者代表21名と山田修路水産庁長官との意見交換会が開催され、本組合から中型まき網代表として牧野島根県まき網漁業協議会長、野津、平木両副会長、かにかご代表として西野島根県かにかご組合長、また荷受団体として築谷常務、中尾境港支所長が参加した。はじめに山田長官から「水産業の現状と今後の施策の展開方向」について水産庁施策の概要説明の後、意見交換に入った。

懇談会では、昨今の厳しい漁業



# JFしまね漁業経営安定 緊急対策大綱

平成20年3月1日

漁業協同組合JFしまね

(3月28日理事会にて決定)

## (趣旨)

本県漁業をめぐる情勢は、慢性的な資源枯渇と魚価低迷の中で、暫定水域及びそれに接続する我国EEZ水域における韓国漁船の無謀操業による漁場制約、更には燃油価格の異常高騰によるコスト増大等によって、かつて経験したことのない厳しい経営状況にある。

この状況をふまえ緊急対策としての本組合独自対策及び組合員の自助努力実践に加え、国、県の緊急支援事業を積極的に導入活用の上総合実施することによって現下の局面打開を図るべく組織挙げて取り組むものとする。

## (期間)

平成20年3月1日～平成21年3月31日の間において次に掲げる各事業を継続且つ随時実施していくものとする。

## 1. 国の支援事業

### 活力ある漁業回復支援事業(日韓財団事業)

#### (事業内容)

韓国漁船の操業による漁場制約、漁具被害等により支障を生じている漁業者に対し、操業の合間においてその状況等を調査する取組に対し、当該操業経費の一部を助成・支援する。

#### (対象漁業者)

カニカゴ漁業、パイカゴ漁業、沖底漁業、小底漁業

#### (事業期間)

平成20年1月～平成21年3月31日

#### (事業規模)

約1.3億円

### 漁場機能維持管理事業(日韓財団事業)

#### (事業内容)

韓国漁船等の操業に伴い、発生する投棄漁具等を回収し、漁場機能の維持管理を図るとともに違反操業を監視する。

#### (対象漁業者)

ベニズワイガニカゴ漁業、沖底漁業、小底漁業

#### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

#### (事業規模)

約2億円

### 燃油高騰緊急対策事業(国)

#### (ア) 省エネ操業形態導入事業

##### (事業内容)

旋網漁業の漁場探索について地域別にグループ化し、探索船を共同使用することによって省エネを実現することに対し経費の一部を助成・支援する。

##### (対象漁業者)

大中型・中型旋網漁業

##### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約5千万円

#### (イ) 省エネ推進協業体活動支援事業

##### (事業内容)

5名以上の漁業者のグループが、輪番休漁の協定等を締結した場合、休漁中の漁業者が行う漁場生産力向上の取組(下記事例)の経費の一部を助成・支援する。

魚付林整備(植林等)、藻場整備(海底耕運、食害生物駆除等)、漂流・漂着ゴミの除去等

##### (対象漁業者)

同一の漁業種類を営む5名以上の漁業者グループ

##### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約5千万円

#### (ウ) 小規模漁業構造改革促進対策事業

##### (事業内容)

小型イカ釣漁業についてグループで一斉に省エネ型操業への転換に取り組み、新たな操業形態の実証に対し助成・支援する。

##### (対象漁業者)

小型イカ釣漁業

##### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約4億円

#### (エ) 燃油タンク整備事業

##### (事業内容)

燃油流通効率化プランに基づき、燃油供給体制を効率的にするための燃油タンク統廃合にかかる経費に対して助成する。

##### (対象)

漁業協同組合JFしまね

##### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約5千万円

## 2. 県の支援事業(漁業用燃油使用効率化推進事業)

##### (事業内容)

日常の操業、漁船の維持管理において燃油を効率的に使用する取組を促進するため次の事業を実施する。

#### 燃油使用効率化指導啓発事業

漁業協同組合に対し専門家招請、省エネ講習会開催、資料作成等に必要な経費を助成する。

#### 船体維持管理推進支援費

漁業協同組合の指導を受けた漁業者が行う上架、洗浄、塗装に必要な経費の一部について船外機を除く全漁船を対象に年1回助成する。

##### (事業期間)

平成20年4月1日～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約3千万円

#### 農林水産業・省エネルギー対策事業

漁業者による2サイクル船外機から4サイクル船外機への機関換装について経費の一部を助成する。

##### (事業期間)

平成20年6月下旬～平成21年3月31日

##### (事業規模)

約5百万円

## 3. JFしまねの事業

#### 燃油供給価格調整事業

##### (事業内容)

燃油価格の高騰を踏まえ、組合員供給分について値引き(2円/ℓ)を実施して経費負担の軽減に資する。

##### (対象漁業者)

組合員

##### (事業期間)

平成19年12月1日～平成20年9月30日

##### (事業規模)

約6千万円

#### 省エネルギー操業実践事業

##### (事業内容)

漁業者の自助努力として省エネルギー操業を実践する。

- (1) 航行時のエンジン回転数を15%引き下げる。
- (2) 船体の軽量化と過大なトリムの防止に努める。
- (3) 船底・プロペラの定期的な清掃を行う。
- (4) 機器類のメンテナンスと節電に努める。
- (5) 情報交換による漁場探索の効率化と過当競争防止のルールをつくる。

##### (実践漁業者)

JFしまね全組合員、各漁業種別団体

##### (事業期間)

平成18年8月23日～平成21年3月31日

(以上)

# 第13回全国青年・女性漁業者交流大会

## 女性漁業者交流大会

### 村上氏『水産庁長官賞』を受賞

去る、3月5日、6日、虎ノ門パストラル（東京都）において、第13回全国青年・女性漁業者交流大会が開催された。本県から女性の部に村上奈津子氏（久見特産品加工グループ）が代表として発表し、審査の結果、水産庁長官賞を受賞した。

村上氏は、『久見（くみ）特産品加工グループ』から『株式会社久見特産』へ、自立した新たなスタート』と題して発表。昭和58年、地区の女性15名が集まり久見漁協婦人部を結成し、平成9年3月、同地区の久見農産加工グループと統合し、『久見特産品加工グループ』を新たに結成した。加工グループでは、製品を作ることにのみ専念し、一切の事務処理は地元の農業公社にお願い



発表する村上奈津子氏

していた。事務から加工、販売までの一切を自分たちの力でやっていきたい、そんな思いがグループ内で高まりはじめていた。新会社法が平成18年5月に施行され、同年6月1日、『株式会社久見特産』を設立し、全てを自分たちの力でスタートすることになった。隠岐で獲れる水産物を使った新商品の開発に取り組み、また「原材料には地元で取れる素材を」、「着色料、保存料無添加の安全・安心な商品づくり」にこだわった思いは、商品作りを始めて20年が経つ今も社員の中で引き継がれている。今後も、自分たちの商品を食べてもらうことを通じて、1人でも多くの人に喜んでもらえるように努力していきたい、と述べた。

# 竹島の日記念行事開催

去る2月22日（金）、県民会館中ホールに於いて、島根県と県議会、竹島・北方領土返還要求運動島根県民会議の主催で、竹島の日記念式典及び領土問題講演が、県内外の関係者、一般県民ほか、JFしまねからも合わせて約500名の参加のもと開催された。

式典の部で溝口島根県知事は、「国に対して竹島問題の早期解決に向け、引き続き力強い支援や活動を強く求めていく」とし「竹島問題の解決には国民の理解や世論の盛り上がりが必要」と決意表明とともに一層の世論喚起の必要性を訴えた。

また、記念式典を控えた2月20日には、竹島の領土権確立を訴える広告塔が、JR松江駅前 completed し、関係者約50人が出席し除幕式が行われた。今回の設置で、島根県が儲けた広告板や広告塔は9箇所目となること。

高さ4m、幅0.85mの三角柱で三面にわたる広告塔には、「竹島かえれ島と海」「竹島は我が国固有の領土です」などの表示と、竹島周辺の地図が描かれている。



式では加松県総務部長が「広告塔を県内随一の利用者数を誇る松江駅に設置することで、県外の人に対して竹島の領土権問題のPRが広く期待できる」とあいさつした後、竹島領土権確立島根県議会議員連盟の上代幹事長、JFしまね築谷允行常務ら6人が除幕した。



# 漁の声

## 第5回

うちだ  
内田 浩明さん43歳（JFしまね恵曇支所所属）

古くからの漁師町である松江市鹿島町恵曇。沖合底曳網、19トンの型いか釣、小型底曳網、定置網、一本釣など多くの漁業種類の基地としてにぎわいを見せる。干物などの加工業も盛んで、特にウルメイワシの丸干しはブランド品。今回はイカ釣漁師になって19年という内田浩明さん43歳）に浜の声を聞いた。

海でしか感じるこののできない自然の素晴らしさ

今年で43歳になる内田さんは、高校の専攻科を卒業後、兵庫県明石の外国航路会社へ入社し冷凍運搬船の機関士として勤務した。海運不況のあおりを受け外国人船員の雇用等、会社の方針転換がきっかけで航路会社を退職。代々漁師の家系であり、父親や叔父さんが現役漁師であったことから迷わず漁師の道を選択。帰郷して現在の7・9トン型漁船「幸祐丸」を建造し、父親と共に漁師としての修行を積み6年が経過した時一人乗りとなり現在に至る。いざ自分の船を持ったことで改めて漁師としての充実感や満足感、陸では経験出来ない自然の姿を体感することができたという。

漁師をやって19年だがこんな経験はない・・・

漁師になって今年で19年目となる内田さんだが「今年是不漁と燃油の高騰のダブルパンチで最悪・・・」と現状を語る。漁獲が年々減ってきていること、何より燃油の異常な高

騰で、出漁してもまず燃油代の確保のことを考えてしまい、漁がうすいと風でも出漁を控える日々が続く。昔のようにイカの群れを追い求める冒険が出来ない今、漁場は近場のみ。去年まで行っていた県外出漁に行こうかどうか正直悩んでいるという。

なんちゃって師匠だよ

ある時、一人の青年がエターン漁師として恵曇にやってきた。「東京から若い兄ちゃんが来たなあ・・・」としかその時は思っただけだったという内田さんだが、青年がイカ釣船の船員だったこともありいつしか漁業のこと、またそれ以外のことなんでも相談される良き兄貴分となっていた。青年が独立を決めた時にも、県内外の多くのイカ釣仲間中古船の情報提供を促し、いざ北海道で中古船が見つかった時には、自ら現地にいき、青年と共にその船に乗って帰ってくるほど「弟分」を気遣っていた。「当時カズ（エターン青年）は誰を頼っていいかわからなかったから、たまたま自分が近くにいたからね」と謙遜しながらも「あいつには、

自分ももっている情報は全て教えたよ。技術は独学で覚えた方が多いんじゃないかなあ。周りにも師匠が沢山いるからね・・・だから自分は、なんちゃって師匠だよ」と微笑んだ。

体の続く限り漁師でいたい

この先イカ釣漁だけでは難しいという思いは常に持っている内田さんは現在、仲間と共に色々と模索中らしい。「やる気があってもなかなか調整しにくいこともある。けど少しでもやれそうなことがあれば、どんな挑戦していきたいよ」という内田さんは、とにかく体が続くまで漁師でいたいという。

視野を広く持つて色んな漁師の話聞いてほしい

最後にこれから漁師を目指す人へのメッセージをお願いすると「探究心、向上心はもちろん必要だけど、とにかく利用出来るものは、最大限に利用すること。それとこれからは温暖化の影響等による自然環境の変化に順応していく為に視野を広く持つているんな漁業関係者の話を聞くことかな。それと、行政機関に相



談しても快く応じてもらえると思うよ」と教えてくれた。  
とにかく明るく前向きな内田さん。漁師仲間からは「うっちゃん」の愛称で呼ばれているほど親しみやすく、なにより仲間を大切に思う優しさを感じることができた。  
快く取材に応じていただいた内田さんにこの場を借りてお礼申し上げます。



JFしまね信用部からのお知らせ

JFマリンバンクしまねでは、平成20年5月1日から平成21年3月31日の間、JFしまね発足から3年目を迎え、皆さまのご愛顧に感謝いたしまして、特別金利定期貯金「毎度ありがとうございます」を取扱いいたします。

期間中、新たに300万円以上でお預かり期間3年にてご契約いただいたお客様に、お取組時の店頭金利に、年0.3%を上乗せした特別金利にてお預かりをいたします。

また、あらたにJFマリンバンクしまねにて年金をお受取いただくお客様には、さらに年0.3%を上乗せさせていただき、なんと店頭金利に年0.6%を上乗せした金利にてお預かりいたします。

他金融機関にてお預けされて満期を迎える貯金をお持ちの方や、安全で利回りの良い商品をご検討の方、また、退職を迎えられ退職金を受け取られるサラリーマンの方など、この機会に是非ご利用ください。

詳しくは、JFしまね信用窓口までお尋ね下さい。  
心よりお待ちしております。



再度ありがとうございます

新たに300万円以上で3年お預けいただくと		さらに、新たに年金をJFしまねでお受取いただくと	
上乗せ金利 年0.3%		上乗せ金利 年0.3% + 年0.3% = 年0.6%	
5月1日現在のお預かり金利		5月1日現在のお預かり金利	
300万円以上1000万円未満	1000万円以上	300万円以上1000万円未満	1000万円以上
年 0.75% (税引後：年0.60%)	年 0.8% (税引後：年0.64%)	年 1.05% (税引後：年0.84%)	年 1.10% (税引後：年0.88%)

JF共済(漁協の共済)からのお知らせ

共済事業の実施方法の変更について

平素より、JF共済(漁協の共済)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

JF共済では、共済事業のより安定的な運営を図り、ご契約者様の保護(安定的な保障提供)を万全なものとするために、平成20年4月1日から、組合とJF共水連が共同して共済契約をお引受けする方法に変更いたしました。

これに併せて、ご契約者様と既に締結しております共済契約も同日より組合とJF共水連が共同してお引受けすることとなりますが、共済契約の保障内容や共済掛金等については一切変更ございません。

共済契約上の諸手続き(共済掛金のお払込み、共済契約の内容変更のご請求、共済金等のご請求等)につきましても、従来どおり組合の窓口で対応します。

共済事業の実施方法の変更に伴い、ご契約者様へお願いする手続き等は必要ございません。

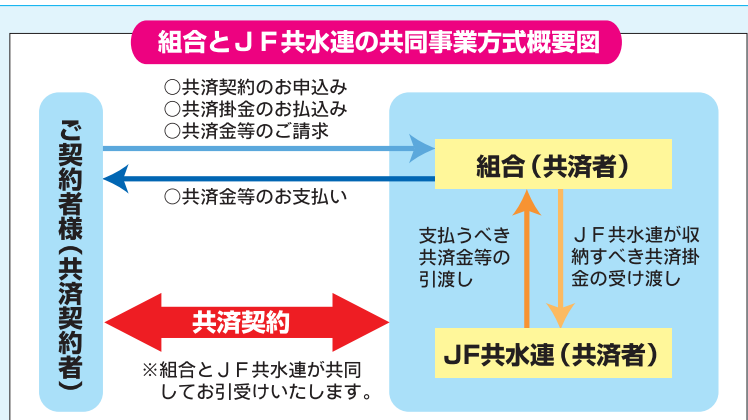
現在、お持ちの共済証書は、引き続き有効ですので大切に保管してください。



平成20年4月からの  
JF共済  
(漁協の共済)事業のしくみ

JF共済(漁協の共済)は、水産業協同組合法にもとづいて組合とJF共水連が運営する共済です。

共済契約は、平成20年4月1日から、組合とJF共水連が共同でお引受けいたします。



## ひとり乗り漁船ライフジャケット着用義務のお知らせ！

船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の改正で、平成20年4月1日から下記のとおりに行われています。

平成20年3月31日まで  
漁船へのひとり乗り航行・漁  
ろう中で、連絡手段を確保し  
ていない場合は着用義務。



平成20年4月1日から  
漁船へのひとり乗り航行・漁  
ろう中の場合は着用義務。

違反の場合、累積により6ヶ月以内の免許停止等の処  
分対象となります。ひとり乗り以外の場合でも、安  
全の為に必ずライフジャケットを着用しましょう。



## JFしまね 各支所にて展示販売中

### BJ-170 (タイプA)

ベルトタイプ膨脹式  
型式承認番号：4538  
標準浮力：10.1kg  
標準重量：660g



レッド



上半身フリー！



オレンジ



ネイビー



ブルー



ブラウン



ブラック

### BJ-1700 (タイプA)

首かけタイプ膨脹式

型式承認番号：4464  
標準浮力：10.1kg  
標準重量：610g



オレンジ



背中が蒸れない！



レッド



ネイビー



ブルー



ブラウン



ブラック



BJ-170/1700用  
ボンベセット

BJ-170/1700は自動/手  
動兼用タイプです。  
ご使用の際は付属の取扱説  
明書をよく読んで、正しく  
お使い下さい。また、予備  
ボンベセットの携帯をお勧  
めします。

### KB-60 (タイプG)

固型式ベストタイプ  
型式承認番号：4533  
標準浮力：6.2kg  
標準重量：430g



イエロー



ネイビー

メンテフリーで安心感抜群！  
驚異の軽さ（430g）で疲労軽減！  
全面スリット入り構造で作業性バツグン！

### FW-2 (タイプA)

固型式ベストタイプ  
型式承認番号：4529  
標準浮力：7.9kg  
標準重量：530g



イエロー

船検対応のタイプA。  
裏地メッシュで蒸れ感軽！



JFしまね 各支所で展示販売中！  
試着してお選びいただけます。



### 「信は力なり」



日曜日は、河川敷グラウンドで草野球ならぬ草ラグビーを楽しむのが日課だ。

メンバーは様々で役場勤務もいれば、コンピューター屋、土建屋と・・・そして、イングランド人（英語の講師らしい）、ニュージーランドと日本人のハーフまでいる。そしてスクールウォーズの舞台になった伏見工出身者もいる。年齢層もこの間まで高校生だった子もいれば40歳くらいまでいる。そして皆が口を揃えて言うことは、「辛いけど楽しい」

傍からみれば、身体をぶつけあひ何をしてるんだらうか？痛い思いをして楽しいだらうか？不思議な光景だらう。自分も折角の休みなのに早起きをして単独行動！家族にもブーイングされながら・・・どういふ流れで集まったのだらう？

答えは人伝い（OB等から紹介され）やネット（ホームページを見て）等ようだ。本当に不思議な集団だ。（最近、集まりが悪いようだ・・・）

草ラグビーのリーグ戦が年間を通じて10試合前後行われる。出雲市や鳥取市のグラウンドに行われている。行つて試合をして帰つたら丸一日で休日も終る。でも、楽しい。勝てばなお更、楽しい。でも、怪我も付き物だ。（作者も肋骨にひびを入れた事も）

山陰には、残念ながら中学校でのラグビー部は無い。高校では山陰であわせて10校くらいしかない。競技人口は非常に少ないようだ。

昨年はワールドカップ（フランス）も行われている。日本も出場したが、リーグ戦で敗退。その大会で3位入賞したアルゼンチンは、サッカーが強いことで知られている。今までは、アルゼンチン国内での認知は低くラグビー協会を解散するとまでいわれて、発奮したようだ。まさに火事場のなんとやら!!

ラグビーの言葉に「One for all is for one」（一人は皆の為に、皆は一人の為に）ラグーマンなら誰でも知っている言葉だらう。（ラグビーを知らない人でも聞いた事があるのでは？）

この言葉は相手の事を思いやる気持ちで一人一人が持つ事によつて一つに成る、と言う事ではないだらうか？

JFしまねも一つの大きな組織です。職員みんなが一つになり「One for all is for one」の気持ちで合併3年目を今まで以上に良くしていきたいと思います。

（章太郎）

## 浜の出来事

### 浜田市で「漁民の森づくり」植樹活動

去る3月29日（土）、浜田市長見町で、浜田市が実施主体となり漁民の森づくり植樹活動が開催されました。植樹活動には、県、市関係者をはじめ、浜田海洋少年団、JFしまね浜田支所管内組合員・役員など約80名の参加。

春の日差しを浴びながら、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、トチノキなど一本一本丁寧に約200本を植樹し、漁民の森づくり活動は終了しました。



## 温かい真心に感謝

平成19年12月25日から平成20年4月15日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚く御礼申し上げます。

### 【香典返し】

- 道前 勝治
- 牧野 納久
- 松村 正彦



### 【年末募金】

- 島根県漁船保険組合
- 全国合同漁業共済組合島根県事務所職員一同

### 【募金】

- 里島 健二
- 恵曇漁協女性部

皆様からのご意見やご感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地 漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係

※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jp または、 FAX: 0852-27-6130でもお寄せ下さい。

本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。

<JFしまねWEBサイト>

<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

## 明るい漁村 167号

編集兼発行人／漁業協同組合JFしまね  
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575

TEL 0852-210001(代)  
FAX 0852-276130

### 編集後記

4月1日から一人乗りの漁船で漁労作業をする場合には救命胴衣の着用が義務づけられました。海難事故の報道で「救命胴衣を着けていれば・・・」という事をよく耳にします。救命胴衣を付けながらの操業は、慣れるまではかなり違和感があると思いますが、『備えあれば憂いなし』本人はもちろん、何よりも陸で待つ家族のために、船に乗ったら必ず着用をお願いします。

(N)